

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	晴る日 高柳事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アートプログラムの充実	アート専門の職員(臨床美術士)が二人に増え、アートの内容も絵画、工作等幅広く取り組んでいます。 アートを通して職員とコミュニケーションをとり、褒められることで「今日はここまで頑張れた」という気持ちを児童さんに実感してもらいます。	定期的に作品展を開催し、児童さんのやる気を引き出していきます。
2	集団プログラムの充実	グループで取組める課題を提供し、自分の気持ちや考えを発言する機会を設けています。 わくわくタイム(集団活動)では運動も取り入れ、多角的な視点で広い視野を養います。	職員のスキルアップを図り、幅広くプログラム開発を行います。
3	個別療育の充実	個別支援計画をもとに、心理士が個別療育を行っています。	家庭との連携を取りながら個別のニーズを把握し、無理なく成長を促せるよう支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の実施	開所1年目ということもあり、プログラム、職員の育成等を優先したため、開催に至りませんでした。	来年度は5月頃に保護者会と臨床美術体験を実施する予定です。
2	施設の構造	クールダウンできるスペースがない。 活動室へ行くまでに階段がある。 活動室が狭い。	広いスペースのある事業所に引っ越しの予定があります。
3	地域との交流	開所1年目ということもあり、プログラム、職員の育成等を優先したため、開催に至りませんでした。	引っ越し後、地域の方々に見に来ていただけるよう事業所で作品展を開催し、交流を図っていきます。